



クラウドシフトを進める金融機関における セキュアで効率的なIaaS/SaaSの利用

- Cisco SD-WAN + Equinixを利用したクラウドシフトへの道 -

2021/12/16

シスコシステムズ合同会社

エンタープライズネットワーク事業

プロダクトセールススペシャリスト 次藤 則兼

本セッションの概要

本セッションの概要

「クラウドクラウドシフトを進める金融機関におけるセキュアで効率的なIaaS/SaaSの利用」

ソリューションの中核となるCisco SD-WAN導入実績:

- 日本国内および海外の製造業を中心に展開
- 金融、ヘルスケア、公共機関など多くの業種、規模での実績あり

Cisco SD-WANの役割:

- 既存のWAN環境やDC利用を踏襲しつつ、インターネット回線をよりセキュアに利用する
- WAN内の通信をトラフィック種別ごとにセグメンテーションを行い、拠点-DC間、拠点間、拠点-クラウドインフラ間、拠点-IaaS間をセキュアに繋ぐ
- 増加するIaaS/SaaSへの快適な接続を行うためのトラフィック・アプリケーションの振り分け、最適経路の選択
- クラウドインフラを提供するEquinix社との連携により、SDCI(Software-Defined Cloud Interconnect)を、金融機関だけでなく、さまざまな業種業態に提供

Cisco SD-WAN 主要国内企業様事例

シスコシステムズ Case Study:

- 東京海上日動火災保険株式会社様
- 三井情報株式会社様(三井物産様)
- 株式会社NTTデータ様
- 株式会社 北國銀行様

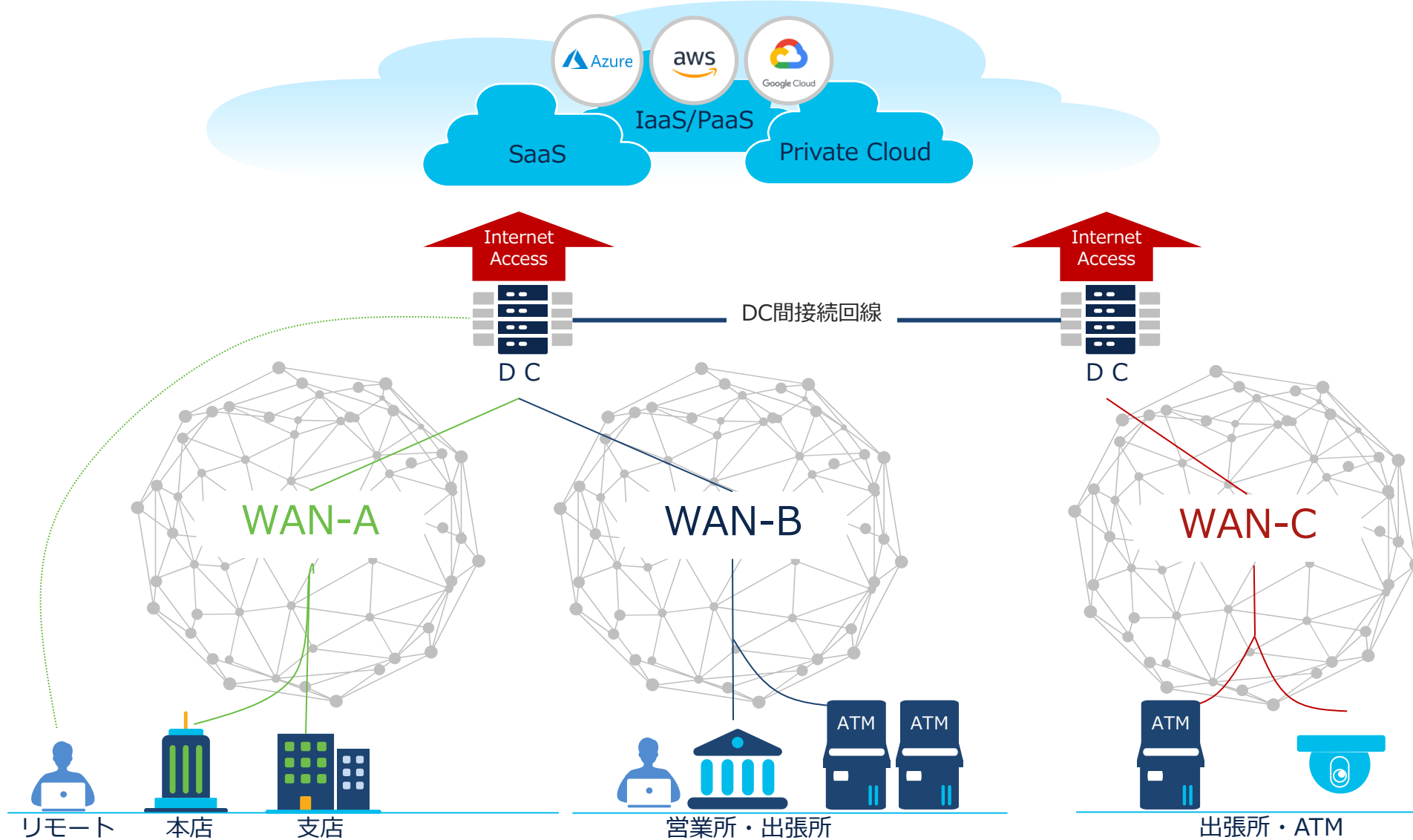
パートナー様Case Study :

- 朝日新聞社様
- 東京大学情報基盤センター様

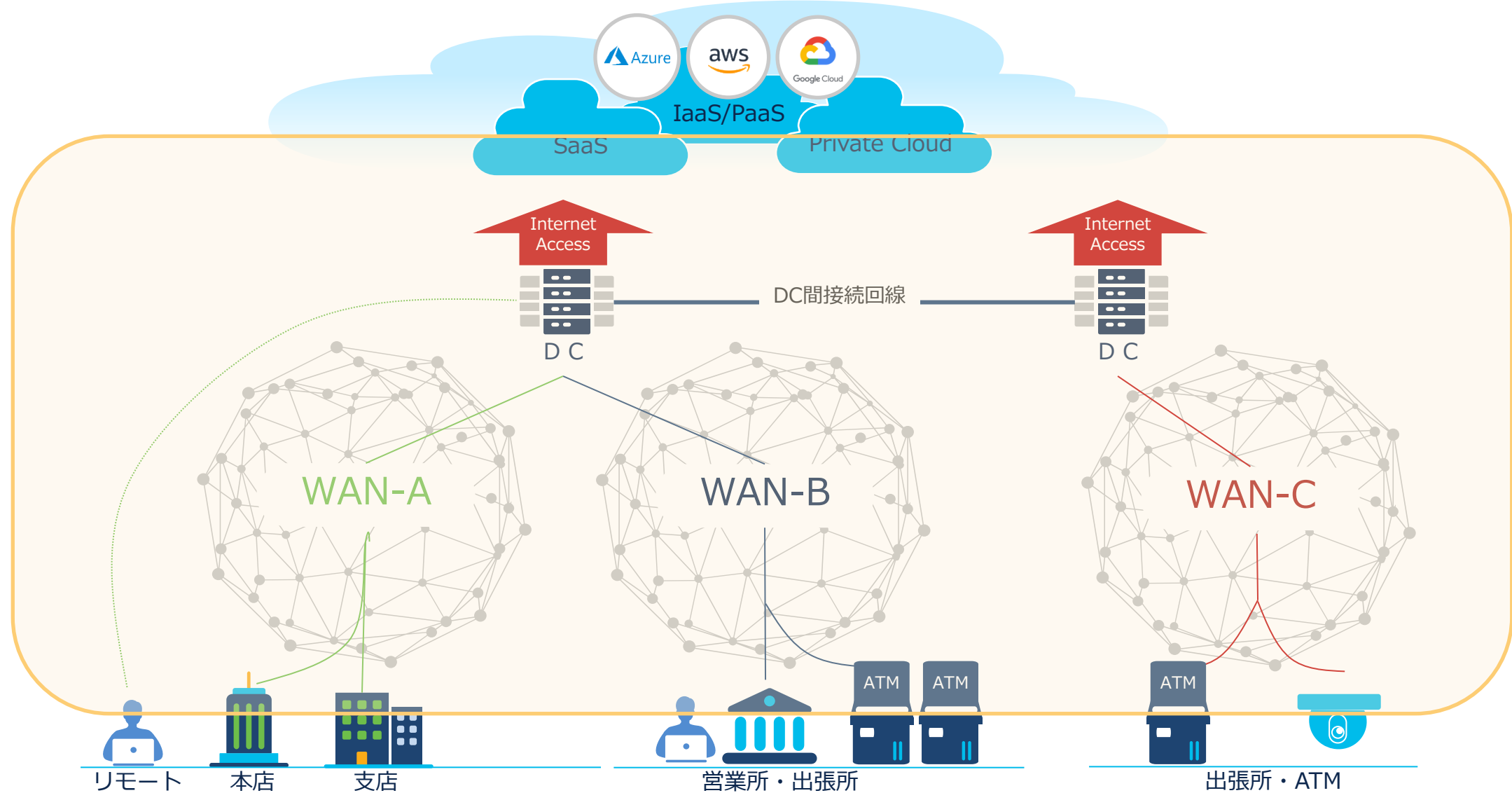
上記公開事例以外にも多くの企業様にてご利用いただいております

- 自動車会社A
- 自動車会社関連会社B
- 自動車会社C
- 自動車会社D
- 自動車会社E
- 電気機器メーカーN
- 小売業F
- 石油・エネルギー業A
- 精密機器メーカーK
- 製造業F
- 製造業O
- 製造業S
- 製造業S関連会社
- 国内総合化学メーカーU
- 製造業H
- 不動産業D
- 保険業S
- 建設機器メーカーK
- 金融機関S
- 市役所O
- 教育委員会F
- 金融機関S*
- 保険業J
- 金融機関M
- 製造業E
- サービス業R
- 電気機器メーカー関連会社T
- スポーツ用品メーカーA
- 製薬会社E
- 総合商社S
- 地方自治体S
- 航空会社A
- 海上運送業N
- 精密機器メーカーK

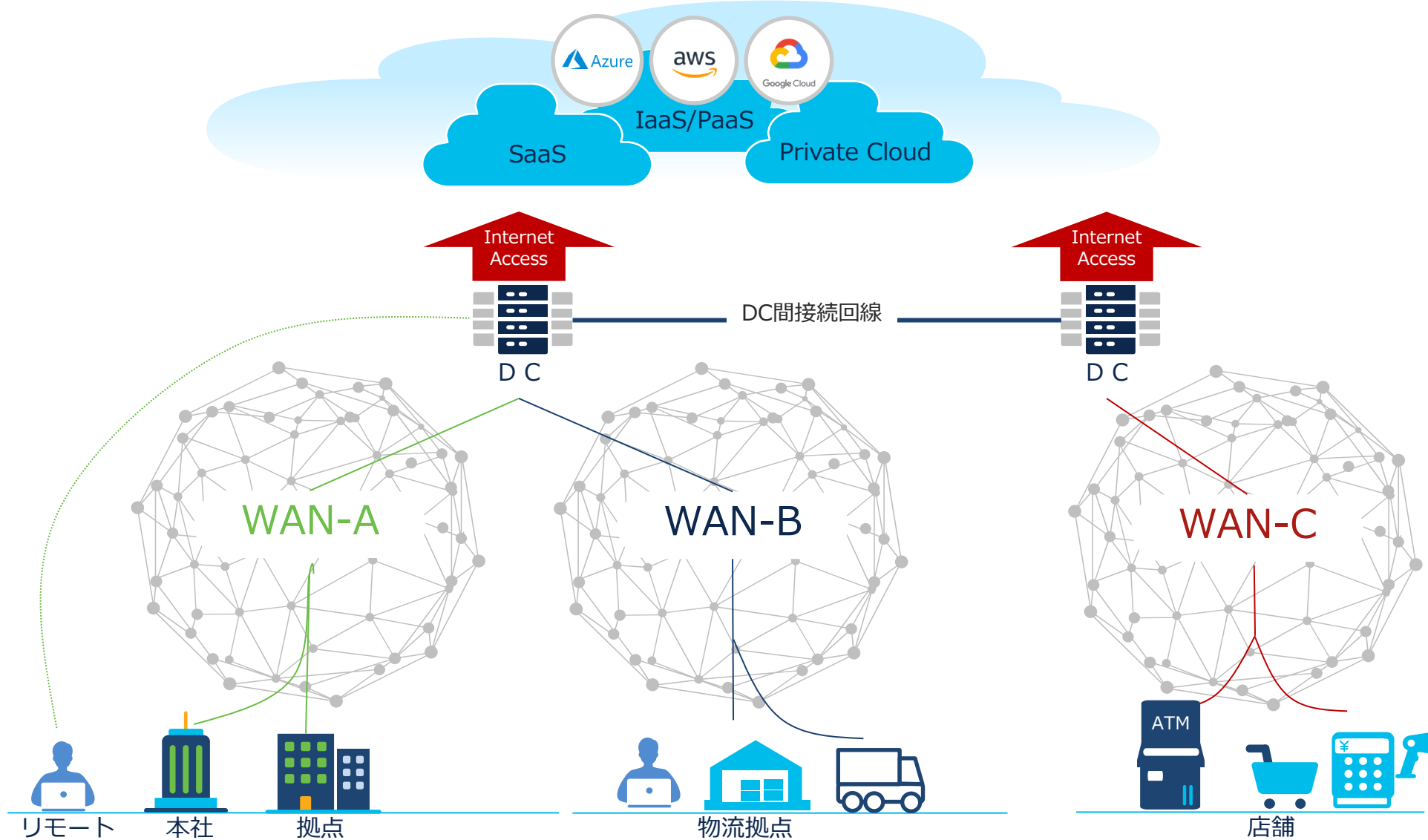
本ソリューションの適用範囲 - 金融機関



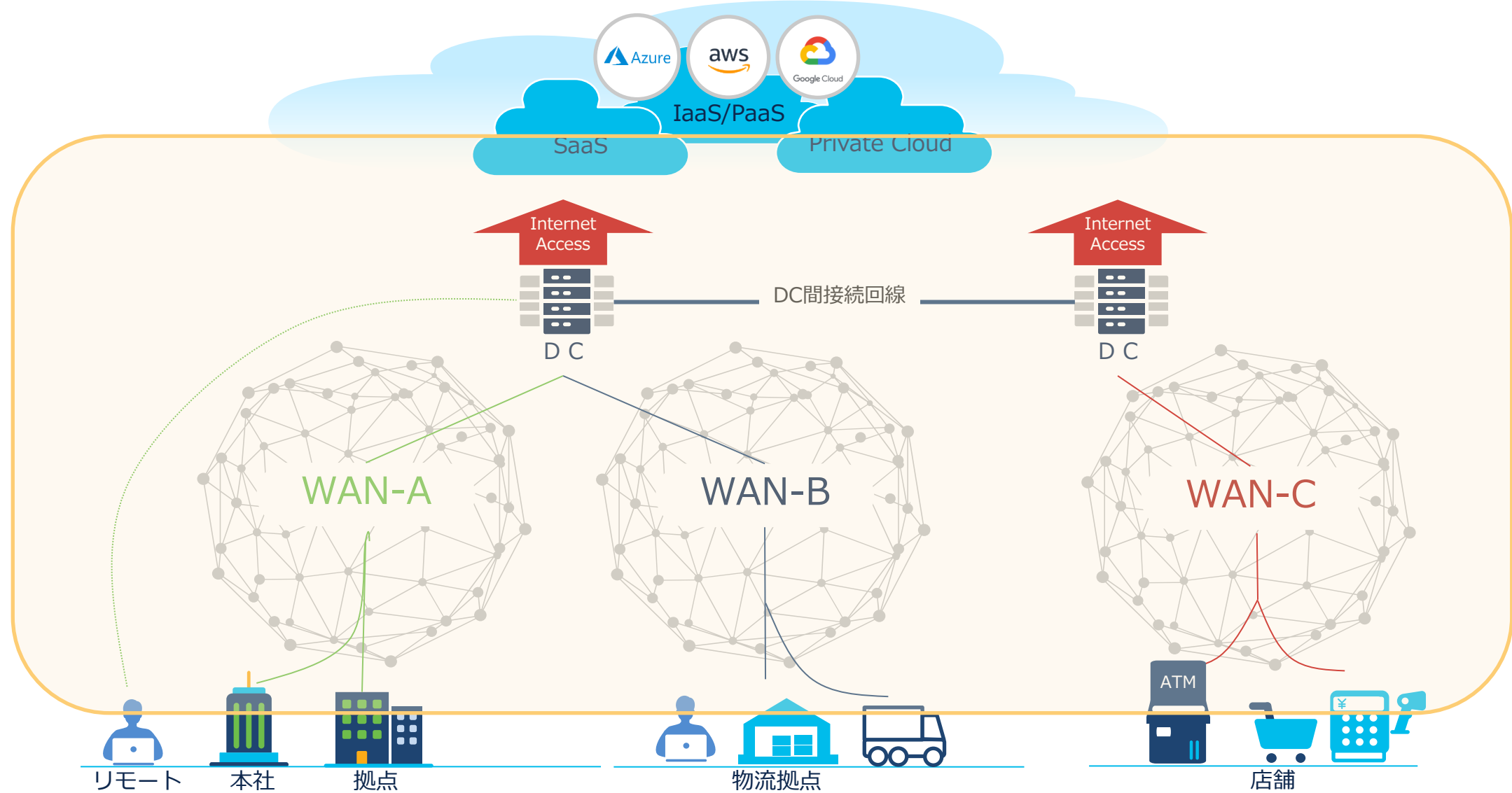
本ソリューションの適用範囲 - 金融機関



本ソリューションの適用範囲 - 流通・小売業



本ソリューションの適用範囲 - 流通・小売業



課題

クラウド時代の課題

新たに浮上する課題から、要件を整理していく

新たに浮上している課題

ブレイクアウトによる、DC集中から拠点分散へと移行。ルーティング、セキュリティ機能の拠点分散での運用負荷増加管理ポイントの増加に伴い、全体の運用負荷の軽減が必須項目となっている。

ブレイクアウト需要の高まりにより、これまでDCで実装していたルータ、ファイアウォールが、拠点に展開されることに。機器を集約し、機能を一元化する必要性が高まっている

さまざまなアプリケーションが、SaaSへと移行しており、サブスクリプションで利用することができる。さらに、DC、サーバなどの運用が不要なので、SaaSへの意向が加速。

SaaS/IaaSの急増により、DCのGateway機器の増強に迫られている。現在のDCリソースを最適化し、既存の設備で実施可能なトラフィックを処理。それ以外は、ローカルブレイクアウトやSaaS/IaaSへのダイレクトアクセスを実施し、DCリソースを現状維持もしくは、縮小していく傾向にある。

攻撃があった場合に、ネットワークを全断するのではなく、必要最低限の範囲で部分的にトラフィックを止めて、インシデント対応する必要がある。

拠点毎に分散した機器にネットワークルーティング機能とセキュリティ機能を搭載した場合、拠点や所属する組織に応じた設定が必要になります。ネットワークポリシーとセキュリティポリシーのベースを設定し、セキュリティレベルの底上げが不可欠

攻撃がより組織化、高度化している中で、特にメジャーな日本の製造業は狙われる状況にある。某国による情報搾取？サプライチェーン攻撃、ラテラルムーブメントへの対応が、今後のネットワーク構築の鍵となる。

拠点内に存在しているOA、IoT、ATM、R&Dといったセグメンテーションを踏襲し、WANの中もセグメンテーションすることで、よりセキュアで可用性の高いネットワーク構築が求められています

要件

運用負荷の低減

Gateway機器の集約

SaaS/IaaSの活用

DCリソースの最適化

インシデント対応

ポリシーの統一

セキュリティの強化

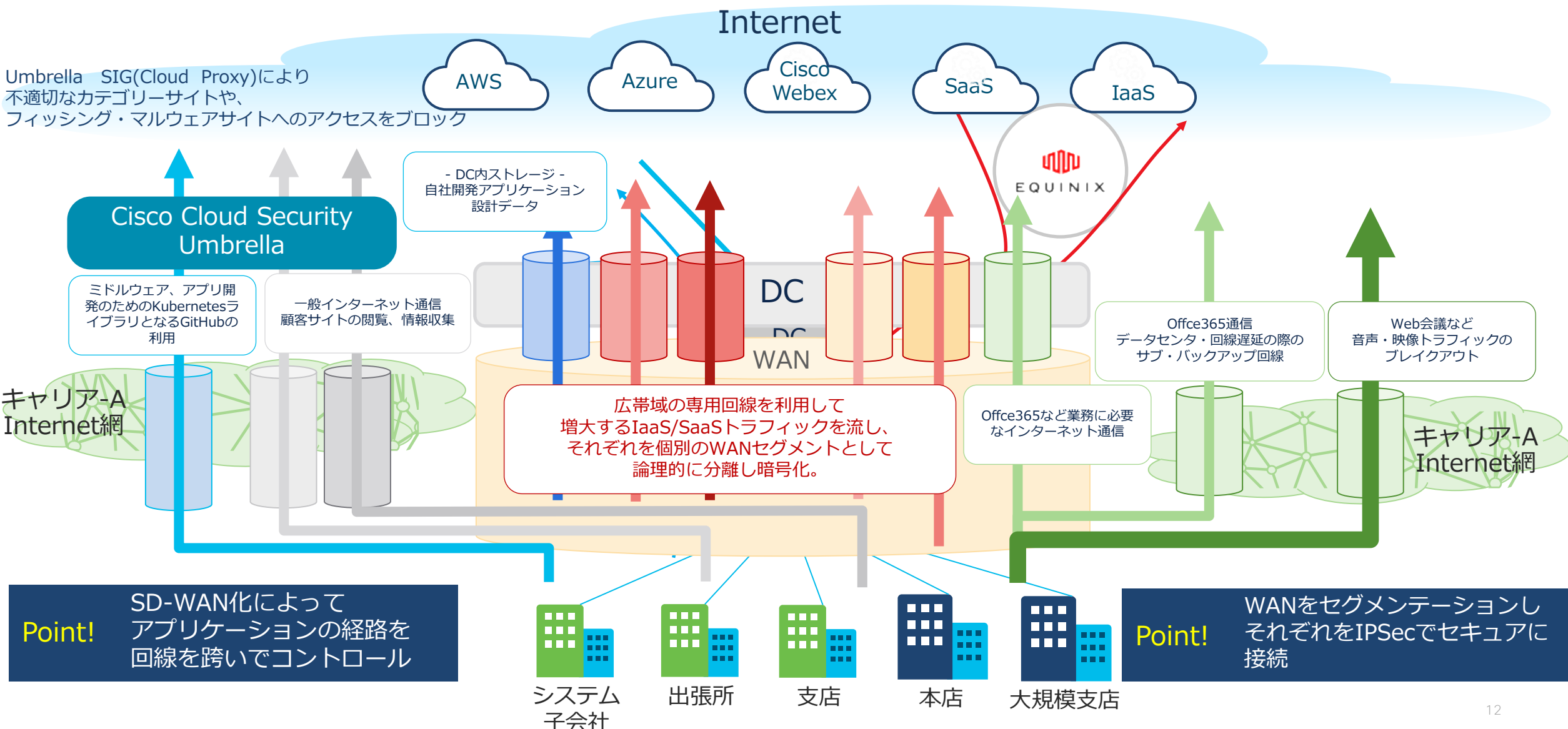
セグメンテーションの変更

クラウド時代のWANのあるべき姿

様々な変化に対して素早く柔軟に対応するための新たなネットワーク構成へと変化する必要がある

要件	SD-WAN + Equinixでの解決策	効果
運用負荷の低減	ルータ・EdgeをCloud Manageで一元管理 GUI/テンプレートにより簡単に管理・運用可能	コスト削減
Gateway機器の集約	ルータ+UTM機能を搭載したCisco SD-WAN Edgeにより、GWの機器構成を 最小化、最適化可能	コスト削減
SaaS/IaaSの活用	Cloud onRamp for SaaS/IaaS、AWS TGWとの統合により、DC・サーバリ ソースの最適化・削減が可能	コスト削減
DCリソースの最適化	Direct Internet Access:DIAの利用と、コロケーション、IaaS 活用、Azure Backbone利用など、様々な機能の活用でDCリソースを最適化可能	コスト削減
インシデント対応	セキュリティインシデント対応時に、WAN/Network構成を即座に変更可能。 遮断、復旧も迅速に対応可能	変化への対応
ポリシーの統一	WANネットワークポリシーだけでなく、セキュリティポリシーも統合管理可能	変化への対応
セキュリティの強化	Edgeセキュリティ+Cloud セキュリティ ラテラルムーブメントとクラウドセキュリティへの対応	変化への対応
セグメンテーションの変更	トラフィック種別毎にWAN Segmentationを分離可能 組織や拠点の属性変更時も即座に変更可能	変化への対応

Cisco SD-WAN & Equinix = SDCI:アプリケーショントラフィック



Umbrella SIG(Cloud Proxy)により
不適切なカテゴリーサイトや、
フィッシング・マルウェアサイトへのアクセスをブロック

AWS Azure Cisco Webex SaaS IaaS

- DC内ストレージ -
自社開発アプリケーション
設計データ

Cisco Cloud Security
Umbrella

ミドルウェア、アプリ開
発のためのKubernetesラ
イブラリとなるGitHubの
利用

一般インターネット通信
顧客サイトの閲覧、情報収集

DC
WAN

EQUINIX

Office365通信
データセンター・回線遅延の際の
サブ・バックアップ回線

Web会議など
音声・映像トラフィックの
ブレイクアウト

キャリア-A
Internet網

広帯域の専用回線を利用して
増大するIaaS/SaaSトラフィックを流し、
それぞれを個別のWANセグメントとして
論理的に分離し暗号化。

Office365など業務に必要な
インターネット通信

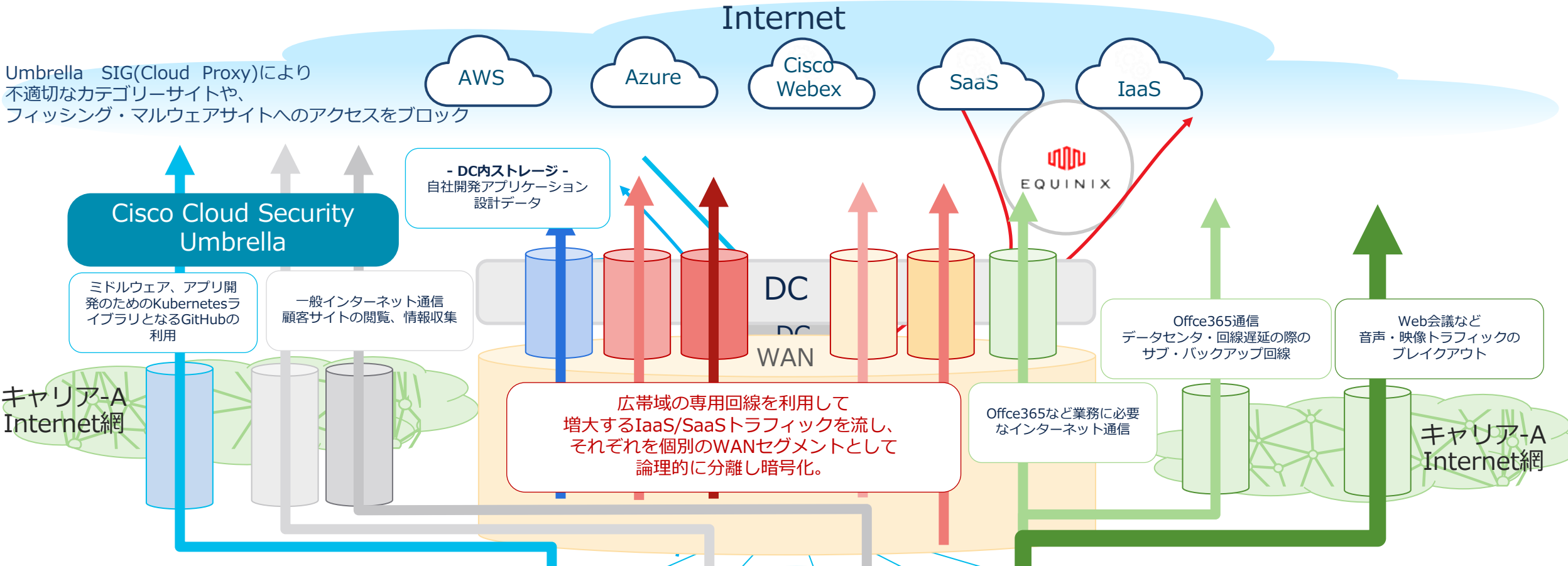
キャリア-A
Internet網

Point! SD-WAN化によって
アプリケーションの経路を
回線を跨いでコントロール

Point! WANをセグメンテーションし
それぞれをIPSecでセキュアに
接続

システム
子会社 出張所 支店 本店 大規模支店

Cisco SD-WAN & Equinix = SDCI:アプリケーショントラフィック



Umbrella SIG(Cloud Proxy)により
不適切なカテゴリーサイトや、
フィッシング・マルウェアサイトへのアクセスをブロック

- DC内ストレージ -
自社開発アプリケーション
設計データ

Cisco Cloud Security
Umbrella

ミドルウェア、アプリ開
発のためのKubernetesラ
イブラリとなるGitHubの
利用

一般インターネット通信
顧客サイトの閲覧、情報収集

広帯域の専用回線を利用して
増大するIaaS/SaaSトラフィックを流し、
それぞれを個別のWANセグメントとして
論理的に分離し暗号化。

Office365など業務に必要な
インターネット通信

Office365通信
データセンター・回線遅延の際の
サブ・バックアップ回線

Web会議など
音声・映像トラフィックの
ブレイクアウト

Point! SD-WAN化によって
アプリケーションの経路を
回線を跨いでコントロール

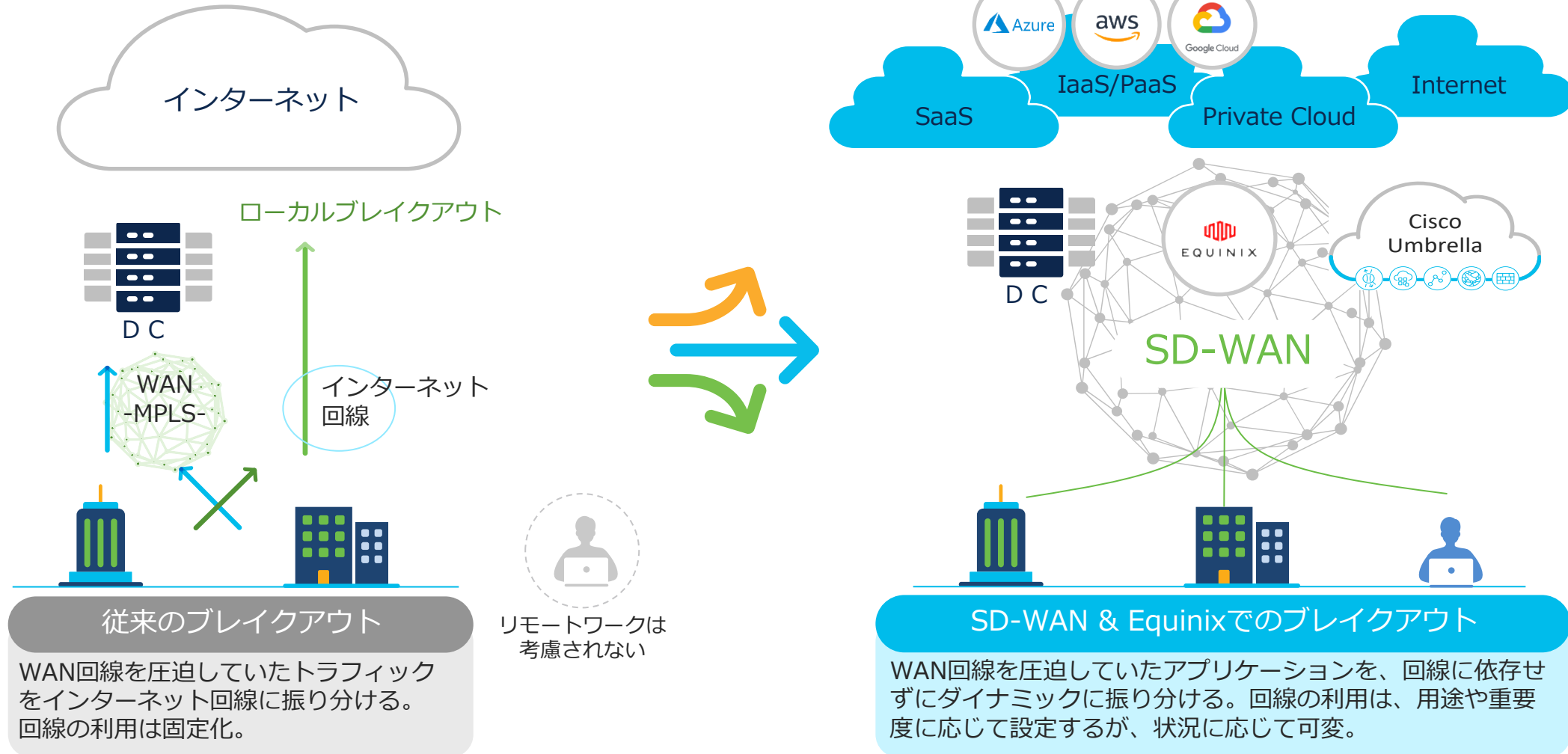


Point! WANをセグメンテーションし
それぞれをIPSecでセキュアに
接続

クラウドシフトへの道のり

クラウドシフトNetworkへの道のり

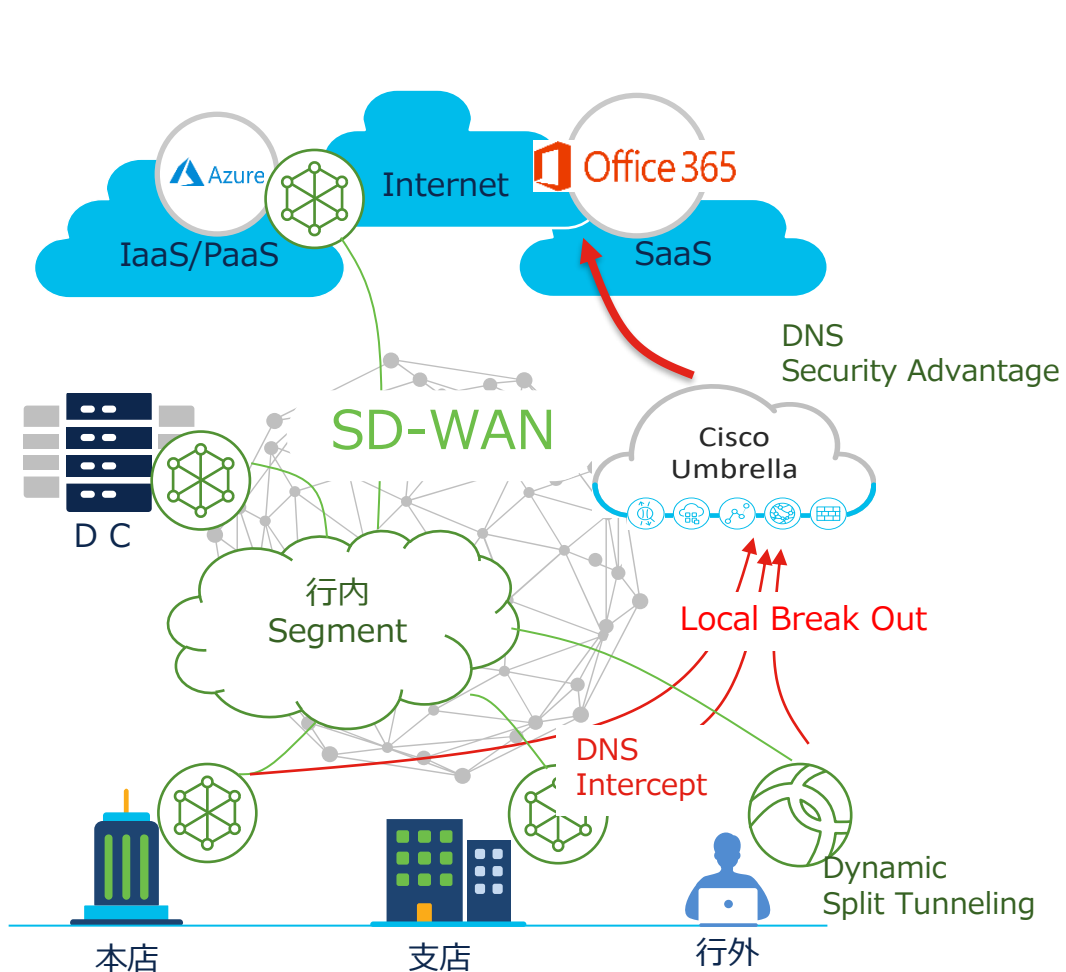
Local breakouts are not always the real solution



金融機関での事例 『情報基盤クラウド化』：SD-WAN & Umbrella Secure DNS

クラウドサービスの活用が可能なインターネットネイティブなネットワークのあるべき姿を目指し、Cisco SD-WANとUmbrellaを導入。

クラウドサービスの機能や活用メリットを最大限享受するため、情報系ネットワークは基本的にインターネット接続を許可。クラウドをフル活用するためFATクライアントへとシフト。金融機関としての強固なセキュリティを担保するために、新たなセキュリティ強化策を実施。



課題

VDIでは、ログインが面倒、セッションが不安定になりPCがフリーズ、Web会議との親和性の低さ

情報系ネットワークのインターネット接続に伴い、基幹ネットワークとの論理的な分離によるセキュリティ対策が必要

拠点からのブレイクアウト、行外端末からインターネット接続の一元的なセキュリティ対策が必要

解決策

FATクライアント化を進め利便性の向上を図り、ネットワーク構成の自由度が高まり、情報基盤クラウド化を加速できた

基幹系行内と情報系をSD-WANのSegmentation機能により論理分割しセキュリティを確保。

Cisco SD-WANとUmbrella Secure DNSにより、本店・支店からのブレイクアウト通信だけでなく、行外端末も含めてインターネットセキュリティ対策を実施

クラウドシフトを実現するCisco SD-WAN

SD-WAN 製品構成要素

製品構成は2つのパートからなります

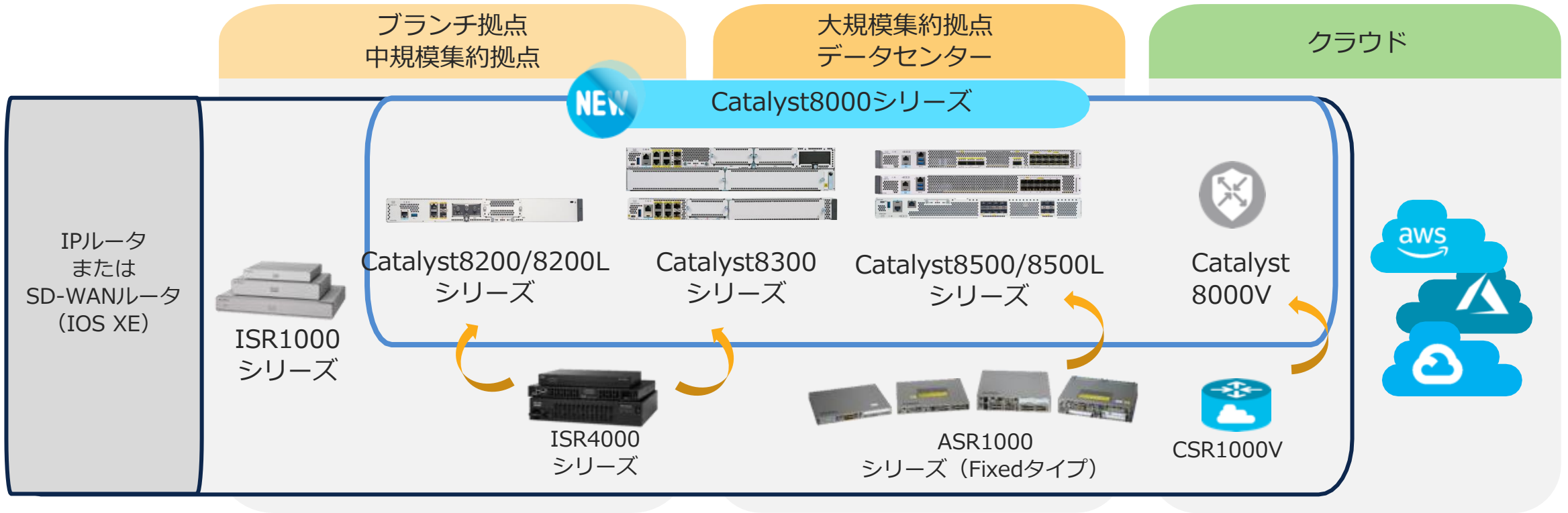
ハードウェア費用 (買い切り) + DNAライセンス費用(Term License)




- ✓ サブスクリプション・ライセンスは全ハードウェアモデルで共通です
- ✓ 仮想アプライアンス版はサブスクリプション・ライセンスの費用のみとなります
(仮想アプライアンスを稼働させるためのHW環境等は、必要に応じ別途ご準備ください)
- ✓ SD-WAN コントローラーコンポーネントの提供も上記ライセンスに含まれます
- 型番(SKU)にDNAがつくものは、親型番にDNAライセンスが含まれており、ハードウェアとライセンスを同時発注する際に利用可能です。例：C8300-DNA
- ハードウェアとDNAライセンスを別のタイミングで発注する場合には、個別の型番を指定します。
例：C8300-1N1S-6T + L-DNA-TIER-ADD

新ルータCatalyst8000シリーズが加わった Cisco 最新ルータ・ラインナップ※

マイグレーション
推奨




IPルータ専用 (IOS)




Cisco 921J

SD-WANルータ専用 (IOS-XE)



ISR1100-4G
ISR1100-6G

NFV
プラットフォーム



Catalyst 8200 uCPE
ENCS5000

※サービス事業者様向け大型機を除く

Cisco SD-WANでできること

ライセンス

機能

DNA Essentials

DNA Advantage

DNA Premier

ZTP: Zero Touch Provisioning

回線のロードバランス

ローカルブレイクアウト(ダイレクトインターネットアクセス)

クラウドマネージコントローラ & オンプレマネージコントローラを選択可能

ダイナミックルーティング(BGP/OSPF)

Cisco Umbrella Secure DNS連携によるインターネット利用の可視化

WAN可用性機能(Path Optimization with FEC / Packet Duplication)

WANセグメンテーション(VRF)

SD-WANエッジでのUTM機能実装(Zone baseFW/IPS)

IaaS/SaaSへのSD-WANの延伸機能(Cloud onRamp for IaaS/SaaS)

SD-WANエッジでの高度なセキュリティ機能実装(Malware Protection/URL Filter)

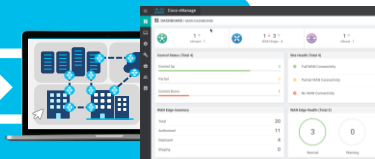
Cisco DNA連携(Cisco SD-Access/Cisco ACI)

音声モジュール & SRST統合 *ISR4000シリーズのみ

vAnalytics:ネットワーク全体の可視性、ネットワーク全体の制御を可能にする

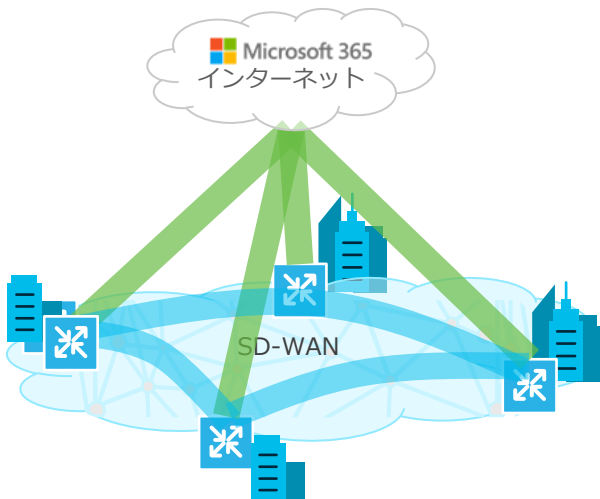
Cloud F/W & Proxy "Cisco Umbrella SIG" ライセンスバンドル

クラウドサンドボックス "Threat Grid" ライセンスバンドル

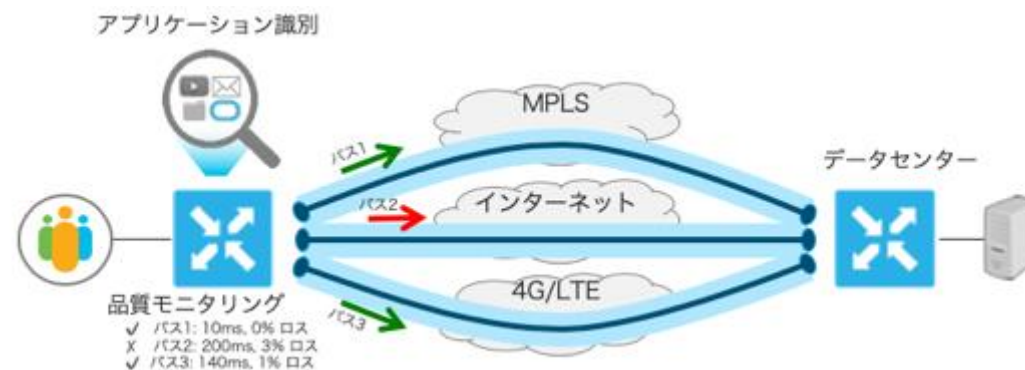


SD-WANの代表的なユースケース

ローカルブレイクアウト



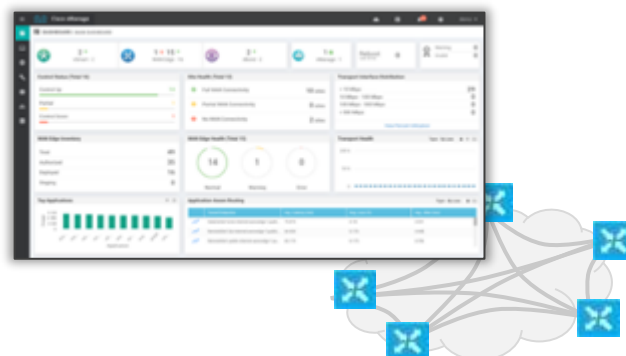
WAN最適化、アプリケーション最適化



ゼロタッチプロビジョニング



一元管理、可視化、分析

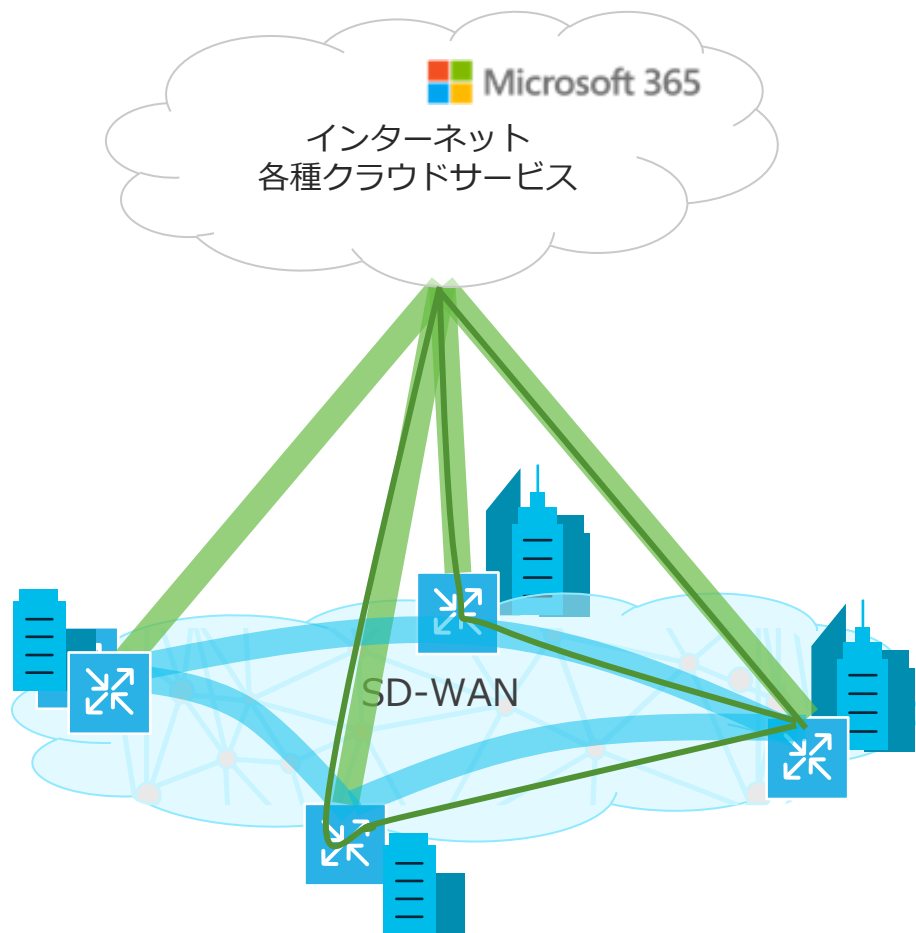


セグメンテーション



ローカルブレイクアウトの発展利用

シンプルなLBOに加え、主要SaaSはマルチパスブレイクアウトも可能

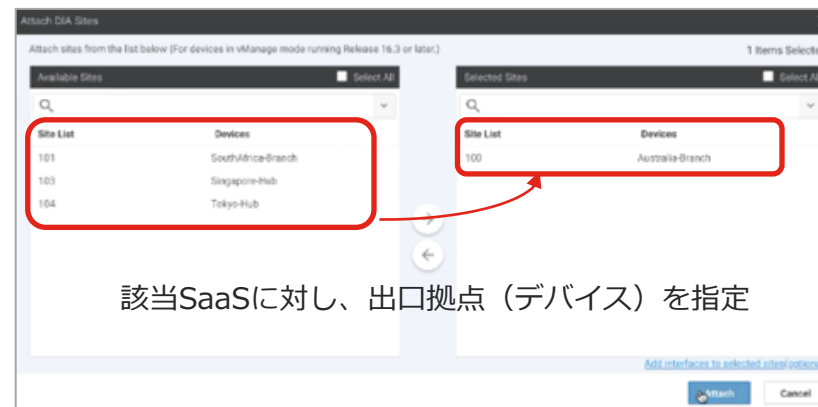


インターネット向けトラフィックを柔軟に識別しブレイクアウト！

さらに、主要13SaaSは当該拠点以外からもブレイクアウト可能
(Cisco Cloud OnRamp for SaaS)

最適パスの選択肢が増え、SaaSの性能/アクセス可用性が大幅に向上。
しかも、管理ダッシュボードから簡単に設定可能！

- いつでも、品質に応じた最適パスを自動選択
- アクセス可用性を大幅に向上
- 簡単設定 — SaaSごとに出口拠点を指定・追加するだけ



該当SaaSに対し、出口拠点（デバイス）を指定

設定画面イメージ

ローカルブレイクアウトの課題①

シスコはMS365のブレイクアウトの典型的なお悩みを解決！

MS365 ブレイクアウトの悩み..

- ✓ ファーストパケットから識別したい
- ✓ MS365アドレスがしょっちゅう変わる

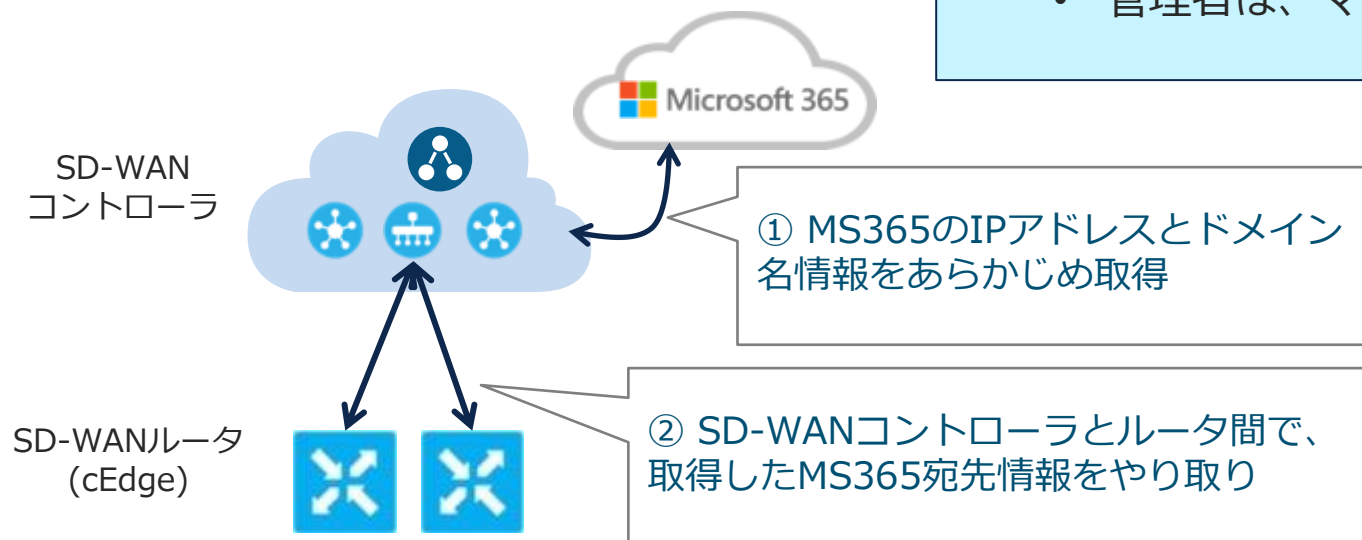
SD-AVCクラウドコネクタ for MS365で、

1. ファーストパケット問題を解消

- 1パケット目からMS365を識別し、ブレイクアウトできる
- センター拠点のFWに、新たな設定変更が不要です

2. MS365の宛先アドレス変化に自動追従

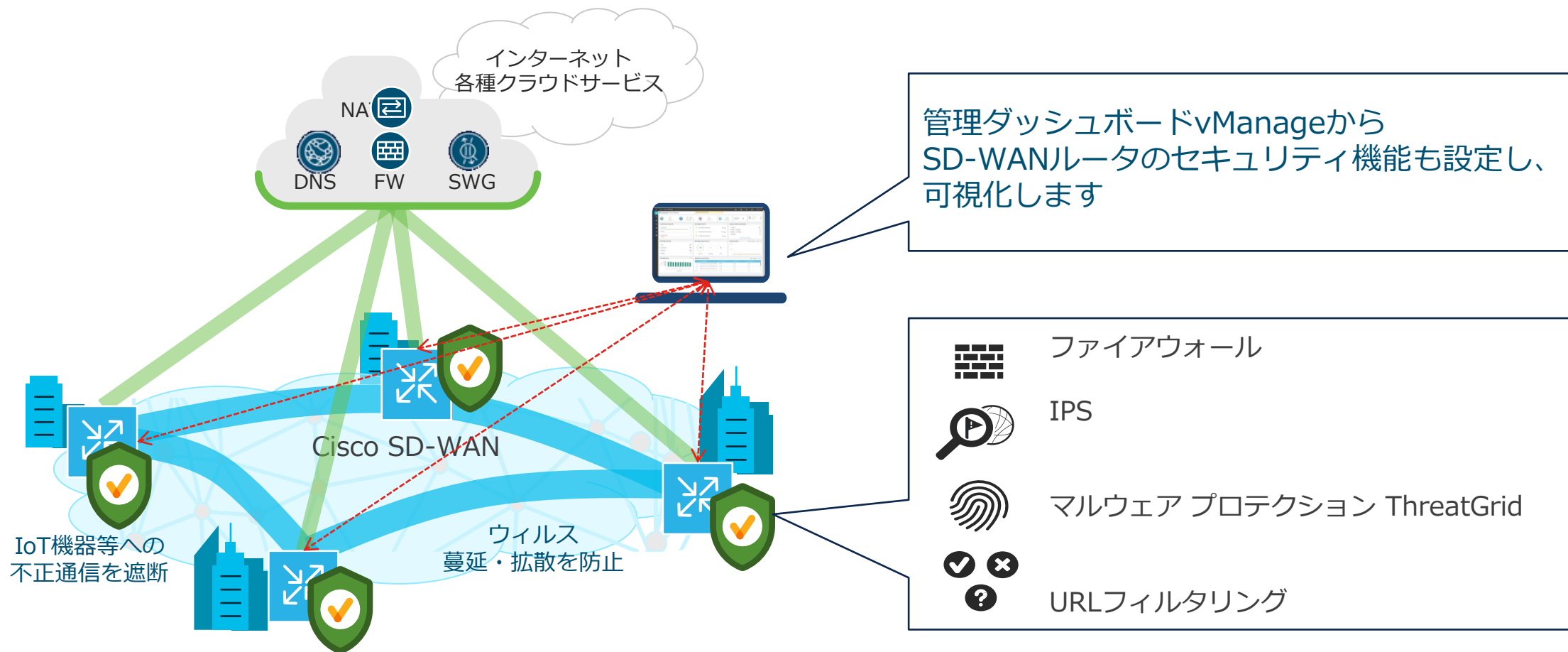
- 管理者は、マニュアルでのアドレス変化追従が不要に



Controller Ver20.3以降でcEdgeでのみ対応

ローカルブレイクアウトの課題②

“拠点間”の通信保護をどうするべきか？



SD-WANルータで、ラテラルムーブメントに対処
Cisco SD-WANルータ搭載のセキュリティ機能で、拠点間通信を保護します！

Ciscoの戦略的パートナーシップ

クラウドサービスベンダーとの連携で更なる価値のご提供が可能に

SD-WAN

Cloud Edge

Cloud Services



Cisco SD-WANファブリックを
コロケーション サイトまで拡張、
包括的な管理性を実現

各拠点とパブリッククラウド間のセ
キュア、プライベートかつ
ダイレクト接続を提供



Office 365パス選択と最適化で
エンドユーザー体験を向上

テレメトリデータに基づく
SD-WANパスの選択

管理の一元化
設定/ポリシーの変更を自動化



仮想インスタンスで
AWSワークロードまで
容易にネットワーク拡張

AWSトランジットゲートウェイ
(TGW) ネットワークに
SD-WANエンドポイントを
ネイティブ統合



テレメトリデータに基づく SD-
WANパスの選択

Google Cloud上のアプリ でコ
ンテキスト アウェアな アクセ
ス制御

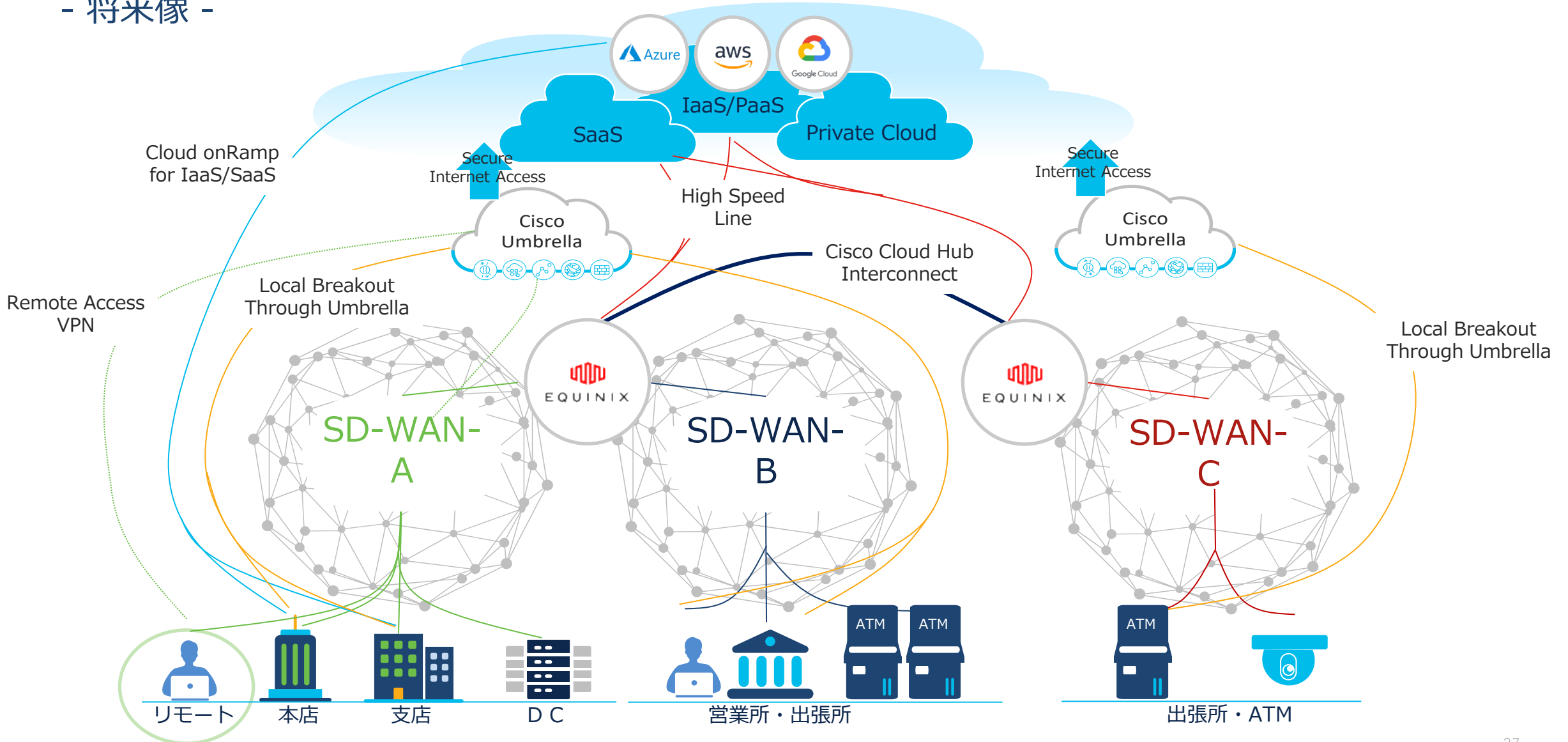
Google Cloudの高速
バックボーンを利用

企業のクラウド戦略を支援・加速

クラウドシフトを実現するSD-WAN & Equinix SDCI移行プロセス

Cisco SD-WAN & Equinix = SDCI

- 将来像 -

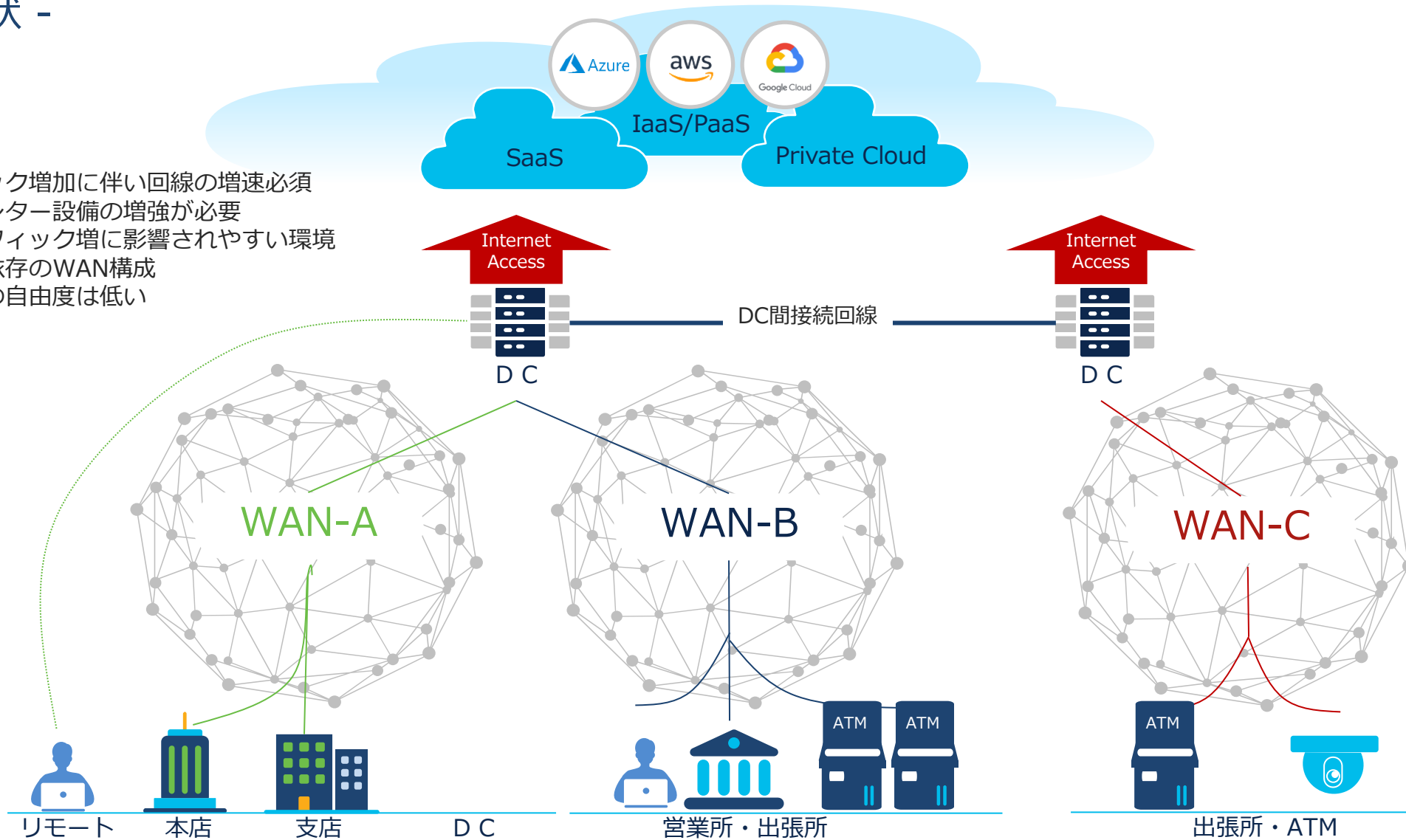


Before Cisco SD-WAN & Equinix = SDCI

- 現状 -

課題：

- ❑ トラフィック増加に伴い回線の増速必須
- ❑ データセンター設備の増強が必要
- ❑ 他のトラフィック増に影響されやすい環境
- ❑ キャリア依存のWAN構成
- ❑ 回線選択の自由度は低い

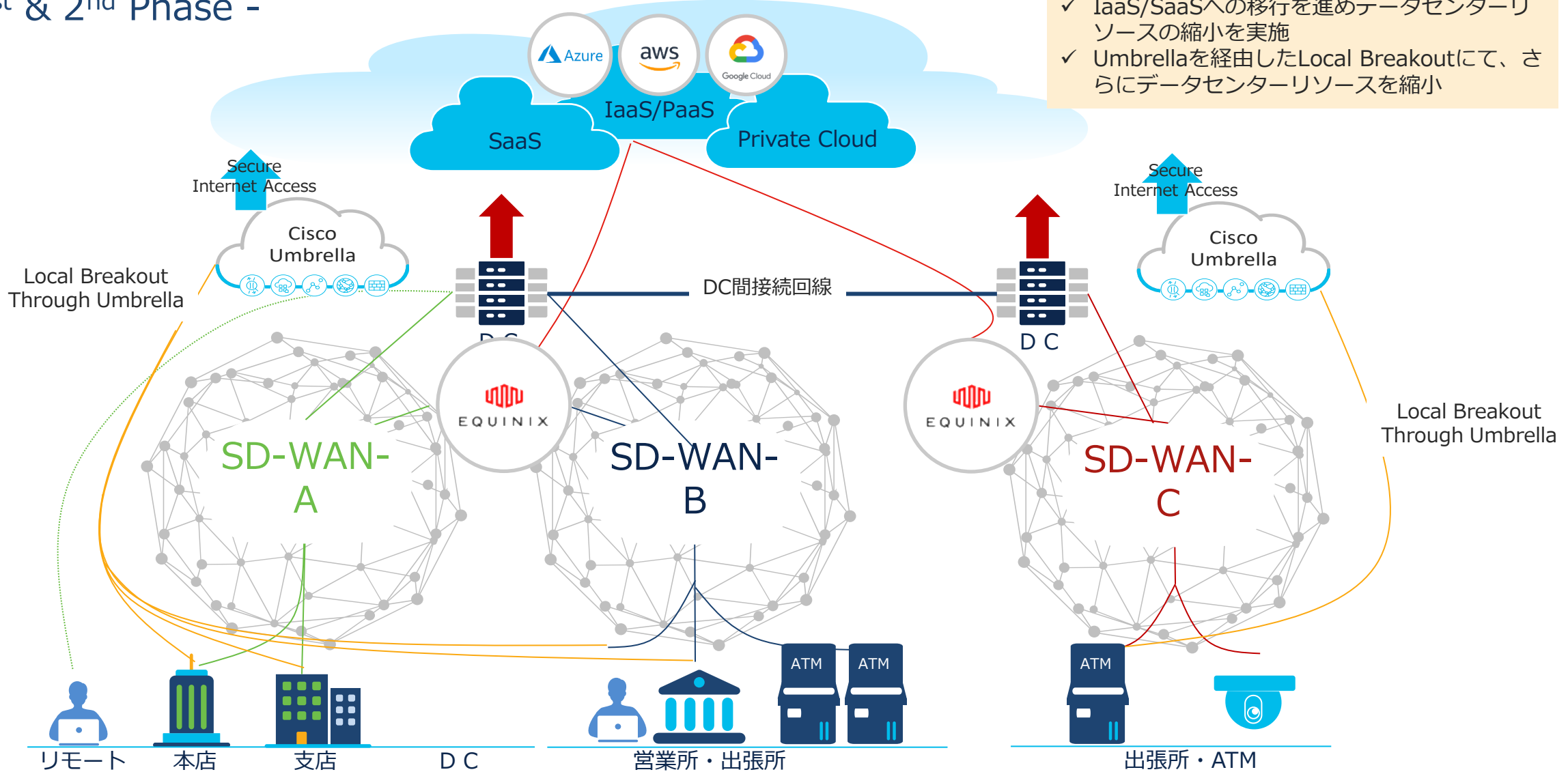


During Cisco SD-WAN & Equinix = SDCI

- 1st & 2nd Phase -

解決策:

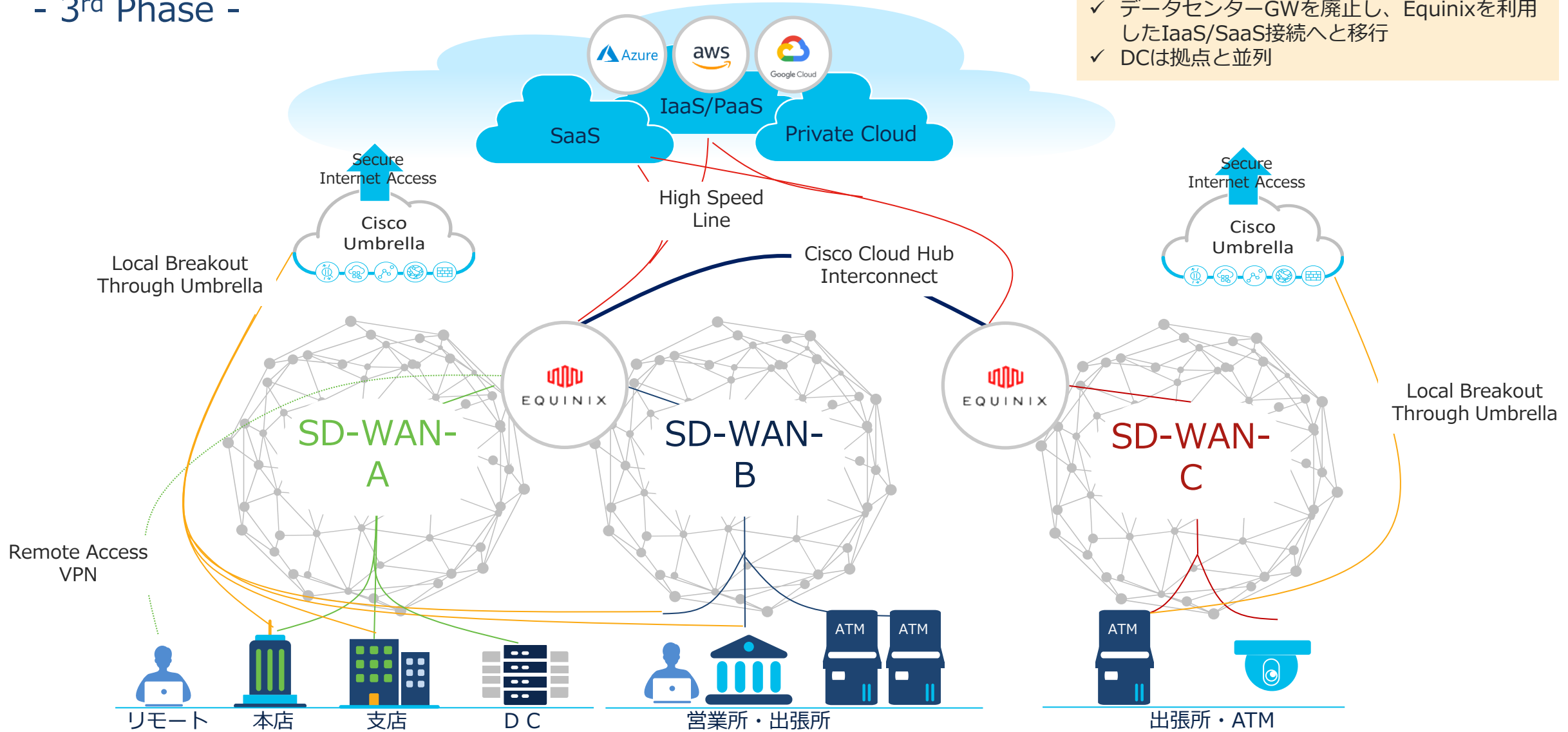
- ✓ Equinixを利用したSD-WAN化を進め、回線選択の自由度を高める
- ✓ IaaS/SaaSへの移行を進めデータセンターリソースの縮小を実施
- ✓ Umbrellaを経由したLocal Breakoutにて、さらにデータセンターリソースを縮小



During Cisco SD-WAN & Equinix = SDCI

- 3rd Phase -

- 解決策：
- ✓ EquinixのInterconnectにて、WAN接続を実施。リソースの共有を図る
 - ✓ データセンターGWを廃止し、Equinixを利用したIaaS/SaaS接続へと移行
 - ✓ DCは拠点と並列

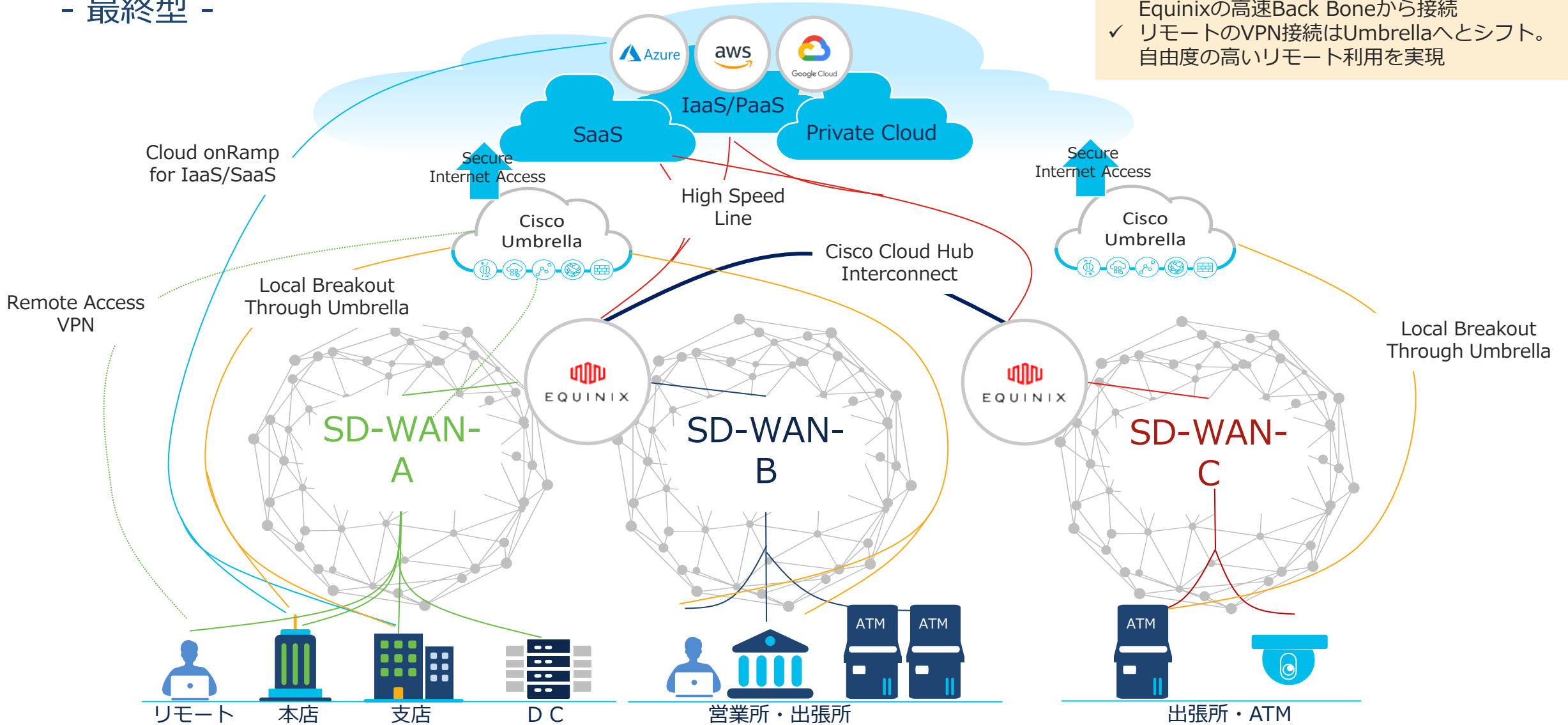


Cisco SD-WAN & Equinix = SDCI

- 最終型 -

解決策：

- ✓ IaaS/SaaSの利用は拠点からダイレクトに接続
- ✓ 高帯域を必要とする基幹業務アプリは、Equinixの高速Back Boneから接続
- ✓ リモートのVPN接続はUmbrellaへとシフト。自由度の高いリモート利用を実現



国内・海外でのマルチクラウド化を推進する シスコSD-WAN 導入事例

Cisco SD-WAN 主要国内企業様事例

シスコシステムズ Case Study:

- 東京海上日動火災保険株式会社様
- 三井情報株式会社様(三井物産様)
- 株式会社NTTデータ様
- 株式会社 北國銀行様

パートナー様Case Study :

- 朝日新聞社様
- 東京大学情報基盤センター様

上記公開事例以外にも多くの企業様にてご利用いただいております

- 自動車会社A
- 自動車会社関連会社B
- 自動車会社C
- 自動車会社D
- 自動車会社E
- 電気機器メーカーN
- 小売業F
- 石油・エネルギー業A
- 精密機器メーカーK
- 製造業F
- 製造業O
- 製造業S
- 製造業S関連会社
- 国内総合化学メーカーU
- 製造業H
- 不動産業D
- 保険業S
- 建設機器メーカーK
- 金融機関S
- 市役所O
- 教育委員会F
- 金融機関S*
- 保険業J
- 金融機関M
- 製造業E
- サービス業R
- 電気機器メーカー関連会社T
- スポーツ用品メーカーA
- 製薬会社E
- 総合商社S
- 地方自治体S
- 航空会社A
- 海上運送業N
- 精密機器メーカーK

Cisco SD-WAN 導入事例

東京海上日動火災保険株式会社様

働き方変革、クラウド活用に適合したセキュア拠点インフラ構築を実現

『シスコの無線 LAN と SD-WAN を活用することで、課支社ネットワークの変革を行いました。』

東京海上日動システムズ株式会社 オープンサービス本部 シニアアーキテクト 畠山 亮 様

課題

- テレワーク制度拡大に伴う多様な働き方への対応
- ファットアプリケーションやクラウド利用などデジタル化への対応
- 金融機関としてのセキュリティ対策高度化

解決策

- ✓ 本部および拠点オフィスへの無線 LANおよび SD-WAN導入
- ✓ Cisco AS によるプロジェクト管理から要件定義、設計、構築支援



『シスコソリューション選定の決め手はセキュリティ』

「最大の選定要因はセキュリティ対策でした。これから作る新たなインフラは、十二分なセキュリティ対策があらかじめ考慮、実装されていることが大前提です。シスコは自社でセキュリティソリューションを開発、サービス展開しており、その知見の広さと深さは他社と大きく違いました。実際の検討段階でも、金融機関に必要なセキュリティ対応要件を能動的に示してくれており、シスコを選ぶ大きなポイントになったと思います。」

Cisco SD-WAN特長

-  安定したアプリケーション
エクスペリエンス
-  適切な場所に適切な
セキュリティ
-  エンタープライズ規模での
展開もシンプル
-  柔軟性のあるネットワーク

東京海上日動火災保険株式会社様の事例はこちらをご覧ください

https://www.cisco.com/c/ja_jp/about/case-studies-customer-success-stories/2038-tokiomarine-nichido.html?oid=csyen015092

Cisco SD-WAN 導入事例

三井情報株式会社

三井物産の攻めのIT戦略を支える新世代ネットワーク Ciscoのビジョンに共感し実現した国内最大級のチャレンジ

「三井物産の新ネットワークは、新しい働き方で『強い個の集団を目指す『Work-Xプロジェクト』の重要な基盤です」

三井情報株式会社 商社営業本部 商社第二営業部 第二営業室リーダー 西依 康弘 様

課題

- ❑ インターネット接続は全てデータセンター経由
→ アクセス遅延の原因

SD-WAN導入後

- ✓ 要件に応じて、各拠点から直接インターネットへ
→ 通信遅延の解消とコスト削減
- ✓ MPLS (IP-VPN) を用いた従来のWANと比べ、同等価格で10倍以上に高帯域化。
国により、2Mbps程度 → 数十Mbps
- ✓ 利用体感が向上し、MS365などSaaS利用がより活性化。

『シスコの構想に共感しCisco DNAを採用』

この新ネットワークにMKI社からご提案いただいたのは、シスコが提唱するCisco DNA(Digital Network Architecture)でした。

そして各拠点を結ぶWANには、SD-WANを導入。従来のWANは、膨大な拠点数、国や地域による通信品質の問題によって、ネットワークの遅延などが目立っていました。

それに対して現在は、MPLSとインターネット回線を組み合わせてビジネス要件を満たすSLAを実現するとともに、WAN上に構成したオーバーレイネットワークを通じて、性能、セキュリティにまつわる管理などを効率的に行えるようにしています。

各オフィス内にもCisco DNA

- ✓ Cisco DNA Center / SD-Access – 本社ビルLAN/APを高い管理。ユーザー、端末レベルで識別し制御
- ✓ Cisco Meraki – 海外拠点LANを一括管理

三井情報株式会社様の事例はこちらでご覧いただけます
https://www.cisco.com/c/ja_jp/about/case-studies-customer-success-stories/2140-mki.html

Cisco SD-WAN 導入事例

株式会社 北國銀行

全拠点からのローカルブレイクアウトと
エンドポイントセキュリティ強化により
クラウド時代のワークスタイル環境を実現

「クラウドをフル活用するインターネットネイティブなネットワークの実現には SD-WAN と Umbrella によるエンドポイントセキュリティ強化が最適と考えました。」

株式会社北國銀行 システム部 システム企画課長 新谷 直樹 氏

課題

- ❑ 事業環境変化やテクノロジー進化を捉え、銀行特有のネットワークの姿を抜本的に見直したい
- ❑ クラウドをフル活用するためには全行員が安全にインターネットに接続できる環境が求められる
- ❑ 増大するトラフィックに備え、センター集中型のネットワークとセキュリティから脱却したい

解決策

- ✓ Cisco SD-WAN により全拠点からのローカルブレイクアウトを実施
- ✓ 利便性の低い VDI から FAT クライアント化し、エンドポイントセキュリティにCisco Umbrella を導入、AnyConnect VPN とも連携
- ✓ PoC 実施により実用性を検証、プロジェクトを早期に立ち上げ



『銀行特有のあり方を見直し、クラウドネイティブなネットワークのあるべき姿を求めました』

ネットワーク製品の信頼性と将来性で Cisco SD-WAN を選定。
全拠点展開スピードと運用時の統合的なサポートにも期待。

ISRルータをベースとしたCisco SD-WAN を選定した理由を次のように話します。
「当社はシスコのネットワーク機器を使用しており、基幹ネットワークのデジタル化基盤としての信頼性を重視しました。全拠点への展開にスピード感を求めたこともあり、構築のみならず運用を含め、統合的に手厚いサポートが受けられることや、シスコ ISR をベースとした SD-WAN であれば将来に渡ってサービスとして進化し続ける点にも、期待が持てました。」

全店舗への SD-WAN 展開を実質 3 ヶ月間で完了

プロジェクトは 2019 年 6 月よりスタート。機器の調達などを経て北陸三県、東京、大阪、愛知、さらにはシンガポールを含めた全 105 店舗への SD-WAN 展開を実質 3 ヶ月間で完了。2020年 10 月から利用が開始されました。これにより同社では Cisco SD-WAN による全拠点からのローカルブレイクアウトが実現。

北國銀行様の事例はこちらでご覧いただけます

https://www.cisco.com/c/ja_jp/about/case-studies-customer-success-stories/2213-hokkoku.html³⁶

クラウドシフトを進める金融機関における セキュアで効率的なIaaS/SaaSの利用

- Cisco SD-WAN + Equinixを利用したクラウドシフトへの道 -

まとめ

本セッションのまとめ

「クラウドクラウドシフトを進める金融機関におけるセキュアで効率的なIaaS/SaaSの利用」

ソリューションの中核となるCisco SD-WAN導入実績:

- 日本国内および海外の製造業を中心に展開
- 金融、ヘルスケア、公共機関など多くの業種、規模での実績あり

Cisco SD-WANの役割:

- 既存のWAN環境やDC利用を踏襲しつつ、インターネット回線をよりセキュアに利用する
- WAN内の通信をトラフィック種別ごとにセグメンテーションを行い、拠点-DC間、拠点間、拠点-クラウドインフラ間、拠点-IaaS間をセキュアに繋ぐ
- 増加するIaaS/SaaSへの快適な接続を行うためのトラフィック・アプリケーションの振り分け、最適経路の選択
- クラウドインフラを提供するEquinix社との連携により、SDCI(Software-Defined Cloud Interconnect)を、金融機関だけでなく、さまざまな業種業態に提供

